

第4学年1組 国語科学習指導案

指導者：T1 重永美津子

T2 黒瀬 寛子（4年1組担任）

(1) 単元名 「山口県の農作物」（やまぐち学習支援プログラム）

(2) 本時の目標

- ・問いに対する答えや中心となる二つの語の関係を考えて、結論を考えることができる。

(3) 準備

- ・学習プリント

(4) 学習過程

学習活動・内容	教師の支援（【 】評価の観点）
<p>1 本時の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の見通し <p>2 本時のめあてを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・問いの文を提示し、問いの文に対応するのは、終わりの文であることを確認し、本時のめあてにつなげていく。
<p>筆者に代わって、おわりの文を考えよう。</p>	
<p>3 本論の段落を並びかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの事例 ・事例の順番 ・「一方」の使い方 <p>4 本論の二つの事例について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二つの事例の違い 柳井市：暖かい気候、いちご 萩市：すずしい気候、だいこん 他 <p>5 結論を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結論を書くときの手がかり 問いに対する答え 中心となる二つの語の関係 	<ul style="list-style-type: none"> ・地名や難解語句を確認しながら読むことによって、内容を少しずつ理解させておき、次の活動への手がかりとさせたい。 ・段落を正しく並びかえる活動を通して、二つの事例に気づかせ、「一方」という言葉を手がかりに事例の順番を考えさせたい。 ・「柳井市では、～である。一方、萩市では、～である。」と例示することによって、事例の違いを考える際の手がかりとさせたい。 ・違いの中から中心となる語については、文中にあることを確認し、整理していきたい。 ・自分なりに結論が書けるように、二つのことを手がかりとして明示する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【書く】 問いに対する答えや中心となる二つの語の関係を考えて、自分なりに結論を書くことができる。</p> </div>
<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・終わりの文を書くときに手がかりとなったことを想起させ、それらをめあてに対するまとめとしたい。

